

窓辺

マネジメントの魅力

まえだ
前田

しのぶ
忍

人材のマネジメントとは、与えられたミッションを達成するためにチームメンバーの力を引き出しながら進めることである。ミッションが未達で終わった時は、部下の不足していたスキルを補うための育成方法に不備があったのか、それともミッションをクリアするために指示した戦術に問題があったのかを明確にしなければいけない。その分析を行い、同じ失敗を繰り返さないようにチームをコ

ントロールすることもマネジメントの一部であり、私が常に意識していることがある。

時として悩むのは、自分がどこまで実務に携わるかだ。部下よりも経験のある自分が実務に加われば、達成への道のりは近いかもしれない。しかしそれはマネジメントを放棄しているのと同じ。部下を育成しながらミッションを成功に導く。マネジメントを実践することは、リーダーとして

成長するきっかけにもなるのである。それがマネジメントの多様性であり、面白さなのではないか。

マネジメントに勝ちパターンは存在しない。部下が一人前に成長するまでの道のりは十人十色だ。必要なスキルを持ち合わせていない部下に対しては自ら指導してきたが、「これを行えば必ず成長する」という固定的な方法は存在しないことを確信している。各部下の人柄や能力を見極めた上で、それぞれに最適な教育手段を選択し、チーム力の向上につなげることがマネジメントの本質なのである。(大井川鉄道社長)